

高速安協会員各位

新潟県高速道路交通安全協議会
新潟県高速道路交通警察隊

ハイウェイ通信

No.14

◎ 交通事故発生状況（令和7年9月末日現在概数）

区分	高速道路の交通事故発生状況			県内の交通事故発生状況			
	令和7年	前年比増減数	前年比増減率 (%)	令和7年	前年比増減数	前年比増減率 (%)	
人身事故	発生件数	42	15	55.6	1,754	-158	-8.3
	死者数	6	6		39	-1	-2.5
	負傷者数	63	23	57.5	1,985	-208	-9.5
物件事故	1,569	272	21.0	40,637	3,610	9.7	

※数値は速報値である。

◎ 高齢者交通事故防止運動の実施について

県内の交通事故死者数に占める高齢者の割合は、本年も6割を超えるとともに、例年、秋以降は夕暮れの早まりや交通環境の悪化等により、薄暮時間帯から夜間にかけて、高齢歩行者が被害に遭う交通事故が多発する傾向にあります。この運動を機会に、各事業所における安全管理は基より、高齢者の交通事故防止に向け、御協力をお願いします。

- (1) 運動期間 令和7年10月1日（水）から10月31日（金）までの1か月間
- (2) 運動スローガン 『ひろげよう 長寿社会へ 無事故の輪』
- (3) 運動重点

① 高齢運転者の交通事故防止

運転免許センターでは、加齢に伴う身体機能や、認知機能の低下等から運転に不安を感じている高齢運転者及びその御家族等からの相談を受け付けています。

お気軽にお電話ください。

※ 安全運転相談ダイヤル #8080（シャープハレバレ）

（平日8:30～17:00）



② 道路横断時の安全確認と夜光反射材の積極的な活用

高齢歩行者が事故に遭うときの主な例として、薄暗い時間帯や夜間があげられます。

できるだけ明るい時間帯に外出し、夕暮れ時や夜間、外に出なければならない時は、白色系の明るい服と夜光反射材を使いましょう。

③ 早めのライト点灯とこまめな切替え

例年10月の新潟県は、午後5時前に日が暮れ始めます。

まだ明るいと感じていても、周囲からは見えにくいことがありますので、車のライトを早めに点灯して、自分の存在を周りに知らせましょう。

また、早めのライト点灯と、こまめなハイビーム・ロービームの切り替えをすることによって、早期に歩行者を見つけることができます。



高速利用が増える秋の行楽期、運転に集中し、疲れたらすぐに休むなど、安全に配慮した行動を実践しましょう。

編集

協議会に対する連絡、ご意見を受け付けています。 新潟県高速道路交通安全協議会（事務局 担当 比企・村山）

電話番号 025-287-4433

e-mail: niigatakousoku-ankyo@chive.ocn.ne.jp

FAX番号 025-286-3460

URL: <http://niigata-kousoku-ankyo.com>